

ファッション
One Point
アドバイス

人気の サングラスは？

強い日差しが降り注ぐ夏。サングラスはファッションアイテムとしてだけでなく、アイケアの面からも欠かせない定番になりました。さて、今年はどうなサングラスが人気なのでしょう？



mat

ここ数年、メガネの人気はラウンド型です。その名の通り、丸型のメガネ。ドラえもんの“のびた君”のメガネですね。このラウンド型はメガネの原点と言えるべき形で、ほんわかと優しい印象にしてくれるのが特徴。たぶんサングラスをかけ慣れていない人にとってはつけやすいタイプですし、近頃のレトロブームでにわかにも人気も上がっています。

ところで、サングラスでの紫外線防御効果については注意しておきたいことが一つあります。同じUVカットレンズでも、目のためには濃い色ではなく薄い色のレンズを選んでください。紫外線は直射光だけでなく、散乱光としても降り注いでいます。いろいろなものに反射した散乱光が、サングラスと顔との隙間から入り込んできます。通常、明るいところでは瞳孔が小さくなって、光の取りこみが少なくなります。濃色レンズでは目の瞳孔が大きく開いた状態になり、そこへ隙間から紫外線が入り込んでしまうと目にダメージを受けかねません。紫外線は白内障の原因にもなります。

絵画の中の洗濯風景

洗濯女たち



ジャン＝フランソワ・ミレー作（1845-6年）

岩波書店のマークになっている『種まく人』や『落穂ひろい』などで、日本でもよく知られているジャン＝フランソワ・ミレー。19世紀半ばの業者による洗濯風景です。ミレーは都市を出て、田園に取材した作品を多く制作しました。特に、風景画を好んだ他の画家よりも、働く農民の生活への関心が強く、農民画を多く制作しています。都会人の満足するような田園風景を描くのではなく、農民の生活に向き合って真摯に観察したところにミレーの独自性があるとされています。

この『洗濯女たち』(The washerwomen)は、ミレーが労働者を描いた最初期のものだといえます。当時のほとんどの洗濯屋さんは川で洗濯をしていたようです。手にもって振り下ろしているのは洗濯に使う板です。この板で叩く洗濯の様子は多くの風俗画に見られます。現代のような高性能洗剤のなかった頃は、棒(きぬた)や板で叩いたりして、汚れを叩き出すという洗い方でした。

暮らし応援ニューズレター

HomeDry News

ホームドライニュース No. 86



ファッション・ワンポイント人気のサングラスは？
絵画の中の洗濯風景:『洗濯女たち』ジャン＝フランソワ・ミレー
衣類のケア講座衣類への汗の影響
衣生活の知恵:ボンディング製品は夏季の保管中に痛みます

まごころクリーニング
ホームドライ
ホームドライ
<http://homedry.or.tv/>



衣類のケア講座

衣類への汗の影響

●汗の成分

汗の成分のほとんどは水です。しかし、衣類に付着した段階で水分は蒸発して、その他の成分が残留します。水以外に塩化ナトリウム＝塩分が約0.65%、尿素0.08%、乳酸0.03%などが含まれています。その他たんぱく質、皮脂、アンモニア、鉄分、カルシウムなどが含まれています。また体質や体調によっても異なり、食生活や服用中の医薬品によっても成分が異なってきます。pHも酸性、アルカリ性のものがあり、日本工業規格の人工汗液にも酸性とアルカリ性があり、衣類に変色などの影響を与えます。

●発汗は温度と湿度で激しくなる

汗成分が残留すると、塩分によって生地が硬化し吸湿性が高くなることから湿っぽく重くなります。またアミノ酸類などが酸化することによって異臭を放つようになります。つまり、硬い、重い、臭いという現象が現れます。濃色の素材では、綿など吸水性の高い部分に集中し、塩分が白いシミや脱色のように見えることもあります(尿でも同様の現象)。

図は、タテが「衣服内湿度」ヨコが「衣服内温度」を示し、右上の曲線で示された領域が「発汗領域」を表しています。

この図からわかることは、温度の影響よりも湿度の影響が大きく、湿度70%を超えると汗をかくということがわかります。

暑くなるほど湿度が高くなる日本では、まさに「汗だくの夏」ということになることがわかります。

●汗を吸収する素材と部位

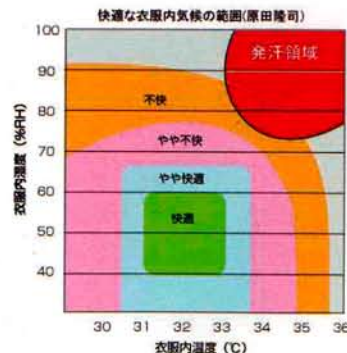


特殊な光線(紫外線)で衣類の汗成分が浮かび上がる
一般的に、吸水性の高い素材に汗が集中します。

綿、絹、麻、レーヨン、ウールなどの素材は、生地構造の深くまで汗成分が浸透することになります。クリーニングに依頼される繊維製品のほとんどは外着です。このことから、下着によって汗が吸収されない部位に集中的するといえます。上着であれば、襟周り、脇の下、袖口、スラックスでは太もも前部分にということになります。



縫い目に集まった汗成分



なるほど
納得!

衣生活の知恵

ボンディング製品は 夏季の保管中に傷みます

高温多湿の日本の気候は、保管中の衣類の素材にさまざまな影響を与えます。乾燥した晴れた日には保管中の衣類に日陰で風を通しましょう。

最近のイタリアファッションのコートなどに多い生地素材に、表地に他の生地を裏張りしたボンディング加工があります。異なる生地を張り合わせるによって、豊かな風合いを演出しています。このための接着剤として、一般にポリウレタン樹脂が使われています。ポリウレタン樹脂は、加水分解といって湿気と温度によって徐々に分解する性質があります。夏季の閉め切ったままのクローゼット内では分解が促進されています。

ポリウレタン樹脂接着剤が分解すると、生地の表面に染み出してきて、べたつくようになり、生地が剥がれてしまい、部分的に泡立ったようになり、また、ドライクリーニング溶剤に溶けやすくなりクリーニングに耐えられなくなります。

